

## 男女共同参画の啓発事業

### 【DV防止啓発について】

女性に対する暴力(夫やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス(DV))やデートDV)、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などは、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許される行為ではありません。国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間である毎年11月12日から25日までを、小山市でも「パープルリボン運動」として啓発しています。

市内の施設に常時DVカードを設置し、この期間に合わせてパープルリボンの配布やツリーへの掲示などを行っています。

なお期間中にDV防止啓発研修会を平成28年11月14日(月)に中央公民館の視聴覚室で市が開催。「DVと子ども虐待～DVはあなただけの問題ではありません～」をテーマに「認定NPO法人サバイバルネット・ライフ」代表の仲村久代さんを講師に迎え、78名の一般参加がありました。また、小山市女性団体連絡協議会主催で、平成28年11月24日(木)男女共同参画センター研修室において「女性の貧困問題を考える」をテーマに弁護士の横山幸子さんを講師に迎え、61名の一般参加がありました。

### 【地区交流会】

自治会長、サークル、講座生や、男女共同参画推進員等による公民館との共催で男女共同参画推進のための「性も年齢も超えて、自分らしく生きる」交流会を行っています。昨年度は、平成28年3月12日に中公民館で24名の参加がありました。今年度は、平成28年6月10日大谷公民館で50名、平成29年1月20日に桑市民交流センター(マルベリーホール)で32名の参加がありました。



(大谷公民館での様子)

引き続き、他の公民館で順次開催を予定しておりますので、お近くの公民館で開催される際には、是非ご参加ください。



(桑市民交流センターでの様子)

## ～ちょっと一考～

“男子厨房に入らず”とはひと昔前の言葉と聞いていましたが、未だキッチンに立ったことがない男性が少なくないようです。古き慣習によってキッチンに抵抗感があるのかもしれませんが。しかし現代は料理、掃除のできる男性が増えてきました。家事の得意な男性ほど人気があります。二人でキッチンに立ち仲良く料理を楽しむ。その様子を見た子どもたちが抵抗なく育つようになってきています。今からでも、“仕方なく立つキッチン”から“楽しむキッチン”へ。そして男子厨房に入ってお株を上げる”を実践したら周りからの見方も変わるかもしれませんね。

## 表紙のこたえ

総務省「平成24年就業構造基本調査」によると、家族の介護や看護を理由とした離職・転職者数は、平成23年10月～平成24年9月の1年間に10万人を超えており、また男女別では女性の割合が全体の約8割を占めています。

## ドメスティック・バイオレンス

配偶者間や親しい間柄にある人からの暴力(通称DV)

### 心あたりはありませんか？

#### ■身体的な暴力

物をなげつける、なぐる、足でける

#### ■精神的な暴力

「誰のおかげで生活できるんだ」など大声で怒鳴る、生活費を入れない、仕事につかせない、友人とのつきあいを制限する

#### ■性的暴力

性的関係の強要、避妊に協力しない

### 1人で悩んでいませんか？

#### ■相談窓口

小山市配偶者暴力相談支援センター

受付時間：平日9時から17時

連絡先：☎0285-22-9602

- とちぎ男女共同参画課センター相談ルーム ☎028-665-8720
- 小山警察署 ☎0285-31-0110
- 栃木県警察本部県民相談室 ☎028-627-9110
- ウイメンズハウスとちぎ(民間) ☎028-621-9993
- サバイバルネット・ライフ(民間) ☎0285-24-5192